

2022年度水資源の有効活用のための研究開発等補助事業

世界の人口増加とともに、水不足、水環境汚染、温暖化にともなう雨量の減少・偏在等による弊害が地球規模で問題となっている。このような状況から、水の循環再利用を進めるとともに、廃水・廃液・水処理汚泥の適切な処理・処分が求められていて、これらの分野における先進国である我が国の造水・水処理関連技術が注目されている。

また、産業の基礎資源として重要な工業用水分野においても、水需給の逼迫や、年々強化される排水の水質規制値に対する今後の対応を考えると、産業廃水・廃液・汚泥のリサイクル及び資源回収をはじめとする水処理関連の廃棄物処理技術の開発についても緊急の課題となっている。

本事業は、水処理、水使用合理化及び水の循環再利用を通して循環型社会の構築に資するものであり、その技術の進歩・向上により、今後の機械産業及び社会の発展に貢献しようとするものである。また、廃水の再生利用、海水淡水化等の造水・水処理関連技術の進歩・向上を図ることにより、機械工業における水処理関連技術のレベルアップに寄与するものとする。

<事業内容>

1. 「低炭素型水処理技術」の普及促進セミナー

本事業は、現在注目を集めているCO²削減を目指す社会のニーズの一環に应运、下排水の水処理技術もより進んだ省エネルギー型が求められている。これらの社会的ニーズに対応するために、従来の水処理技術より、さらに進んだ炭素削減を有する省エネ型水処理技術に焦点を合わせ、炭素発生のより少ない「低炭素型・水処理技術」に関するセミナーを下記のとおり開催した。

セミナーは、東京で令和5年2月28日に会場での講演とWeb同時配信で開催し、聴講希望者227名で約180名の参加者があり成功裏に終了した。

記

第29回造水シンポジウムプログラム

<低炭素型水処理技術>普及促進セミナー

一下水・各種産業排水における低炭素型水処理技術の各種事例紹介

◇主催：一般財団法人造水促進センター

◇日時：令和5年2月28日（火）13：00～16：30

◇場所：1. 会場「主婦会館プラザエフ」地下2階「クラルテ」

2. Webでの同時配信

◇プログラム

- 13:00～13:10 あ い さ つ 一般財団法人 造水促進センター
理 事 長 山 本 和 夫
- 13:10～13:50 「低炭素型水処理技術による SDGs への貢献」
京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻
環境システム工学講座教授 藤 原 拓
- 13:50～14:20 「下水道革新的技術を活用した下水処理システムの省エネ化」
メタウォーター株式会社
事業戦略本部事業企画部技師長 宮 田 篤
- 14:20～14:50 「カーボンニュートラルの時代に向けた中空糸膜利用技術」
三菱ケミカル株式会社
アドバンスドソリューションズビジネスグループ
アメニティライフ本部分離材事業部
技術グループマネジャー 久 保 恵 美
- 15:00～15:30 「嫌気性 MBR とアナモックスによる省エネ廃水処理の実例」
栗田工業株式会社イノベーション本部
IC 部門 IC 開発グループ開発チーム 小 松 和 也
- 15:30～16:00 「RO 濃縮システムによる工場排水の ZLD 事例」
日東電工株式会社ヒューマンライフソリューション事業部門
メンブレン事業部営業部
営業技術課主任技師 石 原 悟
- 16:00～16:30 「膜分離と蒸留を利用した産業廃水からのアンモニア回収方法」
木村化工機株式会社
開発部プロセス開発チーム課長 山 川 洋 亮

<予想される事業実施効果>

下排水における「低炭素型水処理技術」に関して、再生水を利用する立場の観点から、これらの技術を得ることは、再生水のみならず、省エネ型より進歩して、低炭素型水処理技術としてより発展していくことは社会のニーズに対して幅広く的確に貢献していくと思われる。

<本事業により作成した印刷物等>

2022 年度「低炭素型水処理技術」の普及促進セミナー報告書